

山田川の特徴

山田川は井田川の支流にあたり、落合橋手前で井田川と合流します。この川は、旧山田村を流れているときは「山田川」と呼ばれますが、上流の旧利賀村を流れているときは、百瀬川と呼ばれます。上流の特徴が観察できるのは、スノーバレー利賀スキー場より上流と、旧利賀村ー旧山田村の間の妙巖峡周辺で、百瀬川沿いや山田温泉以北では、中流部の特徴が観察できます。ただし、この川は旧山田村を流れるときは、堆積岩地帯を流れるので、川原に泥が多く、夏場は雑草が生い茂り、川原へおりて観察できる場所はさほど多くありません。流域からあまり離れていない利賀学舎や山田小学校、音川小学校などでは、この川は観察対象になりますが、その他の小学校からは、観察に適した川原までは移動に時間がかかるのが難点です。

上流（南部大橋付近）



中流（東雲橋から上流方向）



中流（蓮花寺付近）



下流（落合橋井田川合流点付近）

